6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

こども学部

1年次より実習基礎セミナーⅠ・Ⅱにより「資格取得にあたっての心構え」「実習に必要な知識と技能」等について、初歩的な段階から学び、実習を経験して学生それぞれが自身と向き合いつつ課題を達成していけるようにしている。また、学内施設であるこども研究センターや学内イベント「こども応援ひろば」を活用し、授業とも連動させながら、こどもや保護者と普段からかかわりができるようにしている。

小学校の授業ではChromebookやiPadといった情報端末が活用されているため、教育実習先の情報端末機種にあわせて授業準備ができるように情報端末を用意し、学生が使えるようにしている。

短期大学部

実践食物学科

教養教育として、ICT活用力を重視している。学生のノートPCを必携とし、「情報処理論」科目では、PCアプリの活用のみではなく、ICTを活用した学び方を身に付けることも目指している。

実践保育学科

認定こども園などの増加傾向にある保育行政の推移を考えながら、保育教諭として認められるには、幼稚園教諭二種免許状、保育士証の２つの免許・資格が必要であることを、オリエンテーションをはじめ、機会あるごとに学科の教員がそれぞれの授業の中でも詳しく説明をし、できる限り学生が両資格を取得するように指導している。

教員試験対策講座

小学校等での教員実務の経験を持つこども学科教員による試験対策講座を行っている。短期大学の学生についても対応していく予定である。

キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターで教員採用試験対策や最新の教育トピック、現場でも役立つ知識・教養を知ることができるの雑誌や過去問題集の貸出を行っている。